

平成24年5月29日

23年度「学校評価アンケート」報告

開明中学校・高等学校
学校評価検討委員会

(1)23年度実施の「学校評価アンケート」について

平成20年度から生徒・保護者にも協力をお願いし取り組んできました「学校評価アンケート」も今年度で4回目の実施となります。その目的は本校の教育活動の点検と改善ですが、本校の教育力を計る一つのバロメーターとして非常に役立っております。今年度の「中学、高校別の生徒・保護者アンケート」の結果及び「教職員による自己評価アンケート」の結果を報告いたします。集計結果につきましては別表をご覧ください。以下に、今年度の結果に関し、特徴的なことをまとめておきます。

(2)「アンケート」結果の見方について

評価項目については、次の4段階【A：よくはてはまる B：ややあてはまる C：あまりあてはまらない D：まったくあてはまらない】で回答をお願いしています。評価レベルとしてはABを肯定評価、CDを否定評価としてとらえ、課題を整理してみました。

*「生徒・保護者アンケート」について

(1) 4年間の全項目の「肯定評価」の平均の推移は次の通りです。

	20年度	21年度	22年度	23年度	項目数
①中学生徒	74.0%	77.6%	76.8%	79.6%	33項目
②高校生徒	67.7%	70.5%	73.4%	74.3%	35項目
③中学保護者	82.8%	83.1%	81.5%	82.0%	28項目
④高校保護者	77.5%	80.9%	81.2%	80.1%	27項目
全体平均	75.5%	78.0%	78.2%	79.0%	

(2) 高い評価を得た項目については、その評価を落とすことなく更に充実した取り組みを追求します。

*中学・高校の生徒に85%以上の高い評価を得た項目

- ①この学校は、内容のわかりやすい授業が多い。
(中学91.7%)
- ②この学校は、授業の教え方に様々な工夫をしている先生が多い。
(中学85.4%)
- ③この学校の先生は、教科の質問にきちんと対応してくれる。
(中学94.1% 高校93.8%)
- ④この学校では、宿題や課題がよく出される。
(中学94.5% 高校93.3%)

- ⑤この学校の先生は、私語や居眠りなどはよく注意する。
(中学 88.4% 高校 85.3%)
- ⑥この学校では、進路についての情報をよく知らせてくれる。
(高校 86.3%)
- ⑦この学校では、学習や進路についての面談や指導が適切に行われている。
(高校 87.2%)
- ⑧この学校では、他の人に知られたくないプライバシー(個人情報)は守ってくれる。
(中学 87.6%)
- ⑨この学校は、健康管理について適切な指導と情報の提供があり、生徒が健全な学校生活を送れるように努めている。
(中学 86.6%)
- ⑩この学校の行事の数は適切である。
(中学 88.7%)
- ⑪行事は、生徒みんなが楽しく参加できるように行われている。
(中学 88.7%)
- ⑫この学校の生徒会活動は盛んである。
(中学 87.8%)
- ⑬私は、授業中、私語や居眠りをせず、一生懸命理解しようとしている。
(中学 86.0%)
- ⑭私は、宿題や課題があればきちんと取り組んでいる。
(中学 86.6% 高校 86.0%)
- ⑮私は、この学校に悩みなど相談できる友人がいる。
(高校 85.1%)
- ⑯私の学校生活は充実している。
(中学 85.8%)

*** 中学・高校の保護者に90%以上の高い肯定評価を得た項目**

- ①この学校は、保護者に教育方針を分かりやすく伝えている。
(中学 94.5% 高校 95.6%)
- ②この学校では、宿題や課題がよく出されている。
(中学 96.0% 高校 94.6%)
- ③この学校の学級懇談会の回数は適切である。
(中学 93.0% 高校 90.9%)
- ④この学校では、生徒に関するプライバシーが守られている。
(高校 93.0%)
- ⑤この学校は、健康管理について適切な指導と情報の提供があり、生徒が健全な学校生活を送れるように努めている。
(高校 91.2%)
- ⑥この学校の行事の数は適切である。

(中学94. 1%)

⑦学校行事は、子どもたちが楽しく参加できるように行われている。

(中学92. 8%)

生徒の学校に対する満足度はかなり高く、学習指導だけでなく日頃の生活面で、よく面倒をみてもらっていると感じている生徒が多いようです。また、保護者に学校の教育方針がよく伝わっているのがわかります。今後も保護者と連携をとりながら、生徒達により充実感を与えられるような密度の高い教育を追求したいと思っています。

(3)肯定評価が60%以下の項目については、その項目に対する基本的な考え方と改善策等を示しておきます。

＊生活指導

〔高校生徒〕『この学校は、遅刻する生徒が少ない』⇒年度を重ねるごとに少しずつ改善が見られます。21年度が48. 7%、22年度が54. 2%、そして23年度は57. 4%でした。保護者と協力して、さらに改善に努めるつもりです。ちなみに、中学は23年度、80. 2%でした。

＊行事・生徒会・部活動

〔高校生徒〕『この学校のクラブ活動は盛んである』（49. 0%）『この学校のクラブ活動の日数は適切である』（53. 4%）⇒本校では、勉学とクラブ活動の両立ができるように「クラブ活動基準」を定めております。練習日は1週間に3日以内、練習時間も平日7時・土曜日6時までと定められており、活動期間も高校2年次の最後の公式戦終了時までとなっています。多分、それに物足りなさを感じている生徒が結構いるのでしょう。しかし、一方で、この規定があるからこそ、生徒達はクラブを楽しみながら勉学に励むことができると言っても過言ではありません。実際、中学・高校ともに生徒のクラブ活動参加率は非常に高いです。下の「中学・高校の部員数実績」をご覧ください。クラブ活動に参加している生徒の数が年々増えていっているのがわかっていただけたと思います。

ちなみに、中学では「クラブ活動が盛んである」が64. 1%、「クラブの日数は適切である」が64. 5%でした。

中学・高校の部員数実績

		20年度	21年度	22年度	23年度
中学	運動部	313	322	325	374
	文化部	150	182	216	187
	小計	463(66.4%)	504(68.6%)	541(70.4%)	561(76.4%)
高校	運動部	185	175	186	212
	文化部	86	103	107	140
	小計	271(47.9%)	278(49.1%)	293(59.7%)	352(65.4%)
中高	合計	734(58.1%)	782(60.1%)	834(66.2%)	913(71.8%)

***あなた自身の振り返り**

〔中学生徒〕『私は、予習や復習をして授業を受けている』（53.6%）

⇒『私は、宿題や課題があればきちんと取り組んでいる』の項目では、中学で86.6%の肯定評価を受けています（高校では、86.0%）。各教科から出される宿題や課題は基本的に授業の予習・復習と矛盾するものではないので、それほど心配することではないと思います。しかし、もしかすると、指示されなくては出来にくいという傾向があるのかも知れません。安易に宿題を増やすのではなく、生徒達の自主性を育てるという視点で指導することも重要だと思われまます。

〔中学・高校生徒〕『私は、学校の図書館や自習室をよく利用している』

（中学48.5% 高校54.9%）

⇒自習室の利用は、高校3年の利用が圧倒的に多いです。その他の学年（特に中学）は教室を自習室として利用しているクラスもあり、その結果全体的には利用は少ないのでしょうか。また、図書館については、時間的な余裕がないのか、頻繁に利用する生徒は限られているようです。

（4）『教職員による自己評価アンケートについて』

肯定評価が60%以下のいくつかの項目について、基本的な考え方及びその改善策等についても示しておきます。尚、生徒・保護者アンケートと項目内容が重なるものについては、その一部を省かせていただきます。

〔生活指導〕『本校では、問題行動の防止に向け、キャンペーンを張るなど早期指導を心がけている。』

⇒生活指導には「治療よりも予防」という観点が必要ですが、「予防」のための手だてが十分に打っていないようです。頭髪や服装など日常的なことであれば生活指導部でなくとも、全ての教員が指導するという基本スタイルを確立することが必要だと思われまます。生活指導をテーマに教員の研修会実施を検討しています。

〔特別教育〕『本校では、生徒会活動が生徒の主体的活動として発展するように支援している。』

⇒本校の生徒会活動の範囲は限られています。文化祭を除いては、あまり活躍できる場面はありません。だから、教員から、もっと色々な行事に関わらせるべきだという声も時々聞こえてきます。しかし、学校としてはクラブに入っている生徒に対するのと同様、その学習環境の保証を考えなければなりません。「生徒会活動も勉強との両立ができる範囲内」というのが本校の基本的なスタンスです。

『本校では、部活動の役割を重視し、より多くの生徒が参加できるように態勢を整えている』

⇒本校はクラブ活動も出来る進学校としてその態勢を整えています。アンケート結果から、生徒にもっとクラブ活動をさせてやりたいという教員の熱意は感じられますが、生徒のクラブ参加率の高さを考えると、今のスタイルが現在の本校に合っていると思います。

〔教職員研修〕

『本校では、必要な教育課題での校内研修を実施し、教職員の教育力向上に努めている。』
⇒学校の教育力向上のためには、教員の研修は非常に重要であると考えています。今年度も下記の研修会を実施しました。

1. 全員研修会（教育課題に関して研修会を実施。）
2. 教科研修会（難関大学入試問題検討など）
3. 主任・センター研修会（各学年・部署の教育課題について方針検討・活動の点検と総括）
4. 学外研修会（様々な教育課題に関して学外研修、教科・受験指導に関する学外研修の奨励）

個人レベルでは、ある程度、研修を深めることができているのですが、もっと全体が共有できる内容のものを企画しようと思っています。

〔まとめ〕

学校評価の目的は、その結果に基づいて、教育活動と学校運営を改善し、教育水準の向上を図ることです。教員について言うと、教員が自分で自分の指導力を評価する機会は日常的にあまりありません。だから、自分の指導が生徒や保護者からどういう捉え方をされているかを知ることは非常に意味があるのです。結果は励みになるものもありますし、逆に非常に厳しいものもあります。いずれにしても、結果をしっかりと受けとめることによって、指導力の向上に繋げることができるのです。

保護者に学校方針がきちんと伝わっているか、生徒が安心して学校生活を送っているかなど、このアンケートを通して貴重な情報を得ることも出来ます。今回も、学校としての課題をいくつか認識することができました。それらの課題に取り組み中で、本校の教育活動と学校運営の改善を図っていきたいと考えています。今後ともこの学校評価の取り組みは続けて参りますので、引き続きご協力をよろしくお願い申し上げます。

以上